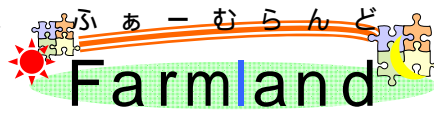




会報



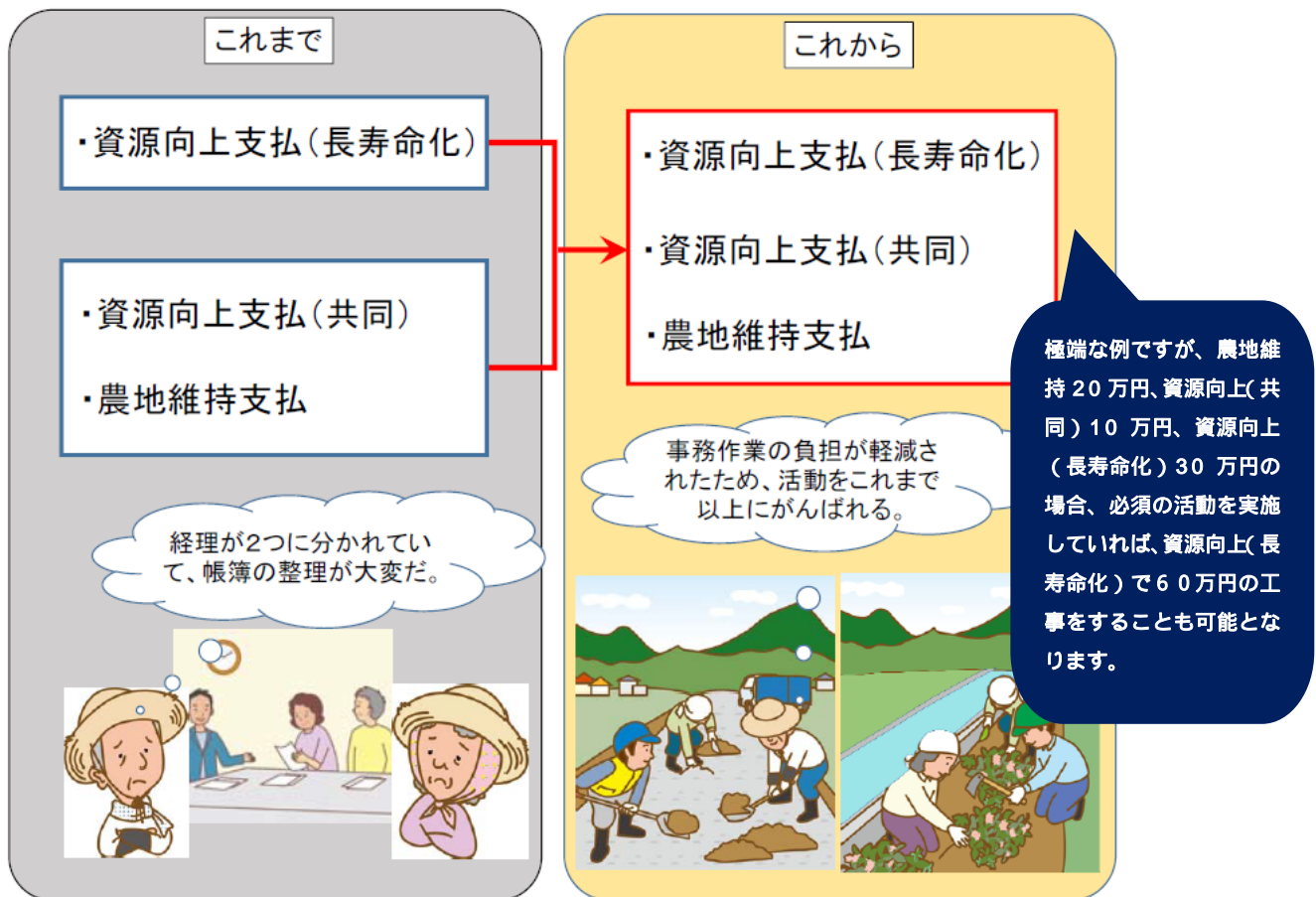
第35号

平成29年4月

## 平成29年度多面的機能支払 制度の見直しについて

- 平成29年度以降は、全ての活動組織が、活動区分に関わらず経理区分を1本化することが可能となります。また、資源向上支払（長寿命化）に取り組んでいない活動組織も、農地維持支払や資源向上支払（共同）の活動において、日当の節減等を行うことで、資源向上支払（長寿命化）の活動に支出することが可能となります。（但し、活動計画書に記載が必要）

### 経理区分の1本化のイメージ



- 平成29年度以降に、新たに「資源向上（共同）の多面的機能の増進を図る活動（6/6単価）」に取り組む活動組織（事業計画期間の終了に伴う再認定を含む。）は、**地域資源の保全活動に係る広報活動を行うことが義務づけられます。**ただし、中山間地域（農林統計上の山間農業地域又は中間農業地域、地域振興3法地域）において活動する組織は除外となりますので、各市町村にお問い合わせください。

以下のいずれかの広報活動を実施して下さい。

活動内容や地域資源の多面的機能等をPRするチラシ等の配布  
 各種イベント等において活動内容等をPRするパネル等の展示・紹介  
 マスコミや行政機関の広報誌等を活用し活動内容等を紹介  
 ホームページやSNS等により活動内容等をアピール  
 草刈りや泥上げ体験のイベント開催等による活動参加の促進  
 その他、これらに準ずる広報活動

## 平成28年度多面的機能支払研修会 開催

2月4日(土)13時よりアロハホール(湯梨浜町)に於いて、平成28年度多面的機能支払研修会が開催されました。当日は、県内各地の活動組織から約420名の参加がありました。

開会に際して、木村肇協議会会長より、「国の予算は伸びないが、地域(むら)を維持するために、今後も多面的機能支払の活動を続けて欲しい」と挨拶があり、続いて、中国四国農政局江角室長から『多面的機能支払活動の広域化を進めましょう』と題して事業の取組状況等を説明して頂きました。江角室長は、「**広域化は行政主導により推進するべき。まずは事務簡素化のための広域化から実行し、最終的には活動体制の統合を目指していく**」と話されました。



その後、日本型直接支払の中国四国農政局長表彰が行われ、多面的機能支払で「優秀賞」を受賞した笠木の集落を守る会(日南町)近藤仁志代表から事例発表して頂きました。発表の最後に近藤代表は、「笠木ブランドを確立し、直販の拡大による農家所得の向上。故郷に帰ろうか!あの地区に住んでみようか!とさせていただけるように集落を盛り上げたい」と力強く言われていました。

次に、広域化の事例発表として、長門市農林課市川裕之係長から行政の視点からご講演頂きました。「行政、事務組織(NPO法人)各地区、広域組織の役割分担を明確にして、業務の好循環にしていきたい」と話されていました。

最後に、基調講演として『ニッポンの農村が教えてくれること』と題して、地域文化フリーライター石井里津子さんよりご講演頂きました。石井さんは、集落と一緒に住んでみて「農村には、もう一つ時間が流れている」等、ご自身が感じたこと、経験されたことを話されました。紹介された地区の中には、若桜町春米(つくよね)、岩美町横尾の棚田もありました。講演の最後には、「農地をつないでいく力が、いのちをつないでいく。皆さんの活動は、ほころびを結び直していく大切な活動です」と言われました。



笠木の集落を守る会 近藤代表



地域文化フリーライター 石井さん



## 農業用管水路保全管理研修会の開催

3月14日(火)日南町印賀地区(西部会場)、3月16日(木)八頭町船岡地区(東部会場)に於いて、農業用管水路保全管理研修会を開催しました。西部会場には活動組織から67名、東部会場には活動組織から145名の参加がありました。本研修は、道路下の管水路に溜まった土砂の排除方法について知って頂くために開催しました。

西部会場では、道路下の排水路約8mの区間に堆積している土砂を超強力吸引車により取り除く作業であり、委託業者と地元活動組織で行いました。吸引された土砂については、米子市内の処分場で処分を行いました。

また、東部会場では、道路沿いに埋設された管暗渠約60mの清掃作業について、研修を行いました。

なお、鳥取県の基本方針には、「協定に位置付けた水路の泥上げを実施し、通水機能に障害が生じないようにすること。この際には、泥上げた土砂を適正に処理し、その場所に放置しないこと。」となっており、農地維持活動の実践活動として実施できます。

### < 西部会場 >



研修会開会挨拶の様子



道路下に堆積した土砂を吸引

### < 東部会場 >



下流管口から高圧洗浄ホースを挿入



上流管口に到達

参加者からは、「集落内を再点検して、つまっている個所があれば、是非とも実施したい」と声が上がっていました。

## インフォメーション

11月4日(金)「農村のフォトコンテスト2016」の審査会が行われ、鳥取県農地・水・環境保全協議会会長賞に原農村資源保全協議会代表の山根和夫さん(北栄町)の作品が選ばれました。

「農村のフォトコンテスト」は、水土里ネットとっとりが毎年実施しています。平成29年度も募集予定があると聞いていますので、多面的機能支払の色々な写真を撮りため、発表の場として頂ければ、幸いです。

なお、過去の作品は、水土里ネットと通りのホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。



作品名 フラワーロード満開

## 活動組織からのQ & A

- Q. 町の担当者から、長寿命化に取り組みにあたり、「**直営施工を毎年実施しないと交付単価が5/6となる**」と言われました。どういうことなのか教えてほしい。
- A. 長寿命化の認定組織のうち、事業計画の変更に伴う再認定(平成28、29年度に面積増減等変更のあった)組織、又は、平成28、29年度認定活動組織は、直営施工を毎年実施しないと交付単価が5/6となります。**但し、国の面積要件を満たす活動組織は除外されま**す。(国の面積要件：一般地域200ha以上、中山間地域100ha以上)

<例>長寿命化の直営施工の作業例

- ・水路の一部区間の目地補修
- ・集水柵、分水柵の補修
- ・浸食により崩壊している農道路肩、農道法面を補修
- ・資材の事前準備、購入、運搬等
- ・工事現場周辺の草刈りや泥上げなど工事の支障にならないような事前準備
- ・冬季の工事に関して必要に応じて除雪等
- ・農道舗装において舗装前の農道の整地
- ・活動組織で調査・設計を実施

- Q. 長寿命化の交付金が平成29年度は、少なくなると聞きました。予定していた工事ができなくなることも考えられます。どうしたら、良いでしょうか？
- A. 経理区分の一本化により、農地維持支払交付金や資源向上支払(共同)交付金を流用することが可能となりました。それぞれに必要な活動は実施した上で、日当の節減等を行って、長寿命化に充当して頂くようお願いいたします。

どんな些細なことでも結構です。お気軽に、支援員にお尋ねください。

	問 合 先	支援員	電話番号
東 部	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	小林 孝規	0857-38-9500
中 部	水土里ネットとっとり倉吉事務所	前田 秀穂	0858-47-0055
西 部	水土里ネットとっとり米子事務所	種田 順治	0859-32-9710